

## 台風直撃の中での総選挙

### おぜき祥子候補が善戦

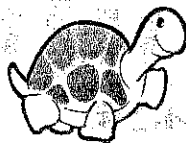
アベ政治の暴走政治の一環として突然の解散総選挙が終りました。結果については共産党としての分析がされ、みなさんへの声明が出されると思います。「民主とき」編集部としてまずもってこの問

土岐市		
比例	日本共産党	2,130票 得票率 7.44%
選挙区	おぜき祥子	3,728票 得票率 12.93%

の後援会や、支持者のみなさんに対しそのご支援、ご協力に心から感謝します。開票日の翌日お聞きした感想のいくつかをご紹介します。読者のみなさんは如何だったでしょうか？

- ① 共産党議席の減は見たくなかった。アベ批判はいっぱい聞いたが政治と選挙は別物かと思うことがあります。
- ② 自民に入れることがある種別のステータスのようで、直後に同じ人から消費税や介護の心配を聞くなど。
- ③ 2年もの地で市民と野党の共闘を追求してきたものとして、民主の分裂、「希望」

に替わる候補にばかりです。政治家の政治信条は信念と政策のはず簡単に投げ捨てる人政治生命の終焉を顧た。④ その点「心は売らない」とたたかった立憲民主は拍手。市民と共にたたかったところは、当選や善戦だった。



日比野とみはる

## テレビからみた総選挙 エンターテインメント

最近、妻がニュース性のあるテレビをみる、上沼恵美子出演モノなど。ニュースキャスターや解説者・芸能人がニュースを解説する番組が多くなった。政治にツッコミ、芸能人がお笑いをとる番組。政治に専門家以外の意外な意見で、政治を平たくしているようにも思えますが？

ニュースがエンターテインメント商品のように消費されています。秘書へのヒステリックな罵声。政治家の男女の仲。離党・合流の中でゆれる国会議員の解説。首相夫妻のオトモダチ・8億円もチョロロマカス。東京都知事の国政へ進出は？などなど。日本は、ゴシップものが豊富にあることがわかる番組です。

## 散歩道

今は亡き森伊和雄さんは選挙になると生活のすべてが選挙モードになり、結果のいかんにかかわらず、終わった後の解放感がたまらないと言っていました。私も同様です。期間中は3度の食事以外は、畑仕事などすべてOFF。

## 楽しい選挙運動

今回の選挙は、今までになかったような楽しい経験がたくさんありました。ポスターを掲示していると、何人も。最大の楽しかったことは、S

るぞ」「がんばってくださるぞ」等々。ちい、少しずつ変化していったようです。「悔いのない投票を」と呼びかけました。そのやり取りはファミ

ナSのラインでのファミリーのやり取りです。初選挙権を得た孫娘が「希望の党」に投票するらしいと、その母親から連絡。希望の党がどんな党か娘とのやり取りの中でファミリーな説明をするう

るう。読者の皆さんがこの記事を読んでいる頃は結果が判明し、共産党が躍進して喜んでいられることを祈りながら書きました。(13日 記 山本絃司)



土岐市議会特別委員会を傍聴に出かけた(9月19日)。注目の議題は「議員定数の削減」。これまでに何回

討議が行われたかは知らない。この日の委員会で結論が出ることだった▼市当局は、差し迫って削減の必要はないとの意向だという。議会特別委員会からの提案だ。市民の声を広くカバーし、市民の視点に立つて議会を更なるものにする責務を負っている彼らが「削減」を言うからには、それなりの意図があると耳をそばだてた▼出てきた発言は「近隣の市の状況」「同規模都市との比較」等々。土岐市議会と市民の関係、議員の活動のあり方などは問題にされない。最近の問題でいえば、「ゴミ収集手数料の有料化」や「総合病院問題」など、議員から広く市民に問いかける行動はなかったと思う▼議会が定数削減とともに衰退している。委員会長の採決は賛成4、反対4で委員長裁決となり、提案は可決されたが...

(9月29日、記、M)

政治革新の道しるべ、真実つたえ希望はこぼ

# しんぶん 赤旗

日刊●月 3497円  
日曜版●月 823円

# 議員定数削減について

## ● パート3 議会改革特別委員会

前回に引き続き、議会改革特別委員会が9月19日に開催されました。

議員定数を『現状維持』か『削減』で予告なしの急な採決が行われました。

現状維持が4人、削減が4人で委員の中で同数のところ。最後は小栗委員長採決で『削減』の方向性が残念ながら決まりました。

今回は今までと違い自治会からの削減要望も無く、削減する「明確な根拠がない」と言いながらの決定となってしまいました。

しかし、これは議会改革特

別委員会の決定で議会全体の決定ではありません。さらに削減する時期や条件、削減数を決めたわけではありません。

削減に賛同した委員のなかでも削減数など意見が分かれています。

今後は現状維持に賛同した委員を含めた9人の委員で削減の議論を進める難しい委員会審議になりますが、市民の皆さんの声や少数意見が届く議会になるように頑張りたいと思います。

● 廃棄物の不法投棄防止に関する監視委員について投書を受けました。

まず監視員とは、不法投棄防止の監視活動、市への通報、違反者への指導を職務として

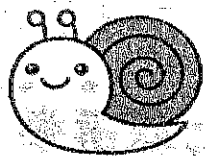
います。任期は2年で各地区の住民から39人を市長が委嘱します。活動は毎月2回以上(月1万円)で行っています。その都度、状況報告書を市に提出しています。

監視活動は各地区で委員が活動日、活動時間、ルートを設定し行い、これまでに数多くの通報が寄せられています。

委員選出方法の一般公募や活動の公表(広報)という意見を頂きました。現在自治会推薦という形ですが、一般公募にすれば重複した時の合否判定、定員不足の可能性などの問題が生じる場合もあります。公表については「抑止」ということもあるので、「目に見える活動」の必要性があると思えますが、反面監視ルートの露呈ということもありますので、頂いたご意見を参考にして今後の議員活動につなげていきたいと思えます。

## 読者のこえ

最近の「民主とき」は面白い。記事のすべてには同意できないが、充実している。「民主とき」を近所に配布したい。50部ほど届けて欲しい。カンパを送りたい。(泉町 S)



## 野党共闘不成立の126選挙区で 1:1の野党共闘が実現していたら 与党120勝 対 野党106勝…?

民進党は、今回の衆院選で共産党や社民・自由党などと野党共闘を進めていた。昨年7月の参院選では、32の1人区で野党統一候補を擁立し、11勝という成果を上げていた。しかし公示直前に希望の党、立憲民主党、無所属の三つに分裂した。その結果、複数の野党候補(野党系無所属を含む)が競合した「野党分裂型」226選挙区のうち、約8割の183選挙区で与党候補が勝利をおさめた。一方、各野党候補の得票を単純合算して試算したところ、このうち3割超の63選挙区で勝敗が逆転する結果となり、野党の分散が与

党側に有利に働いたことがうかがえる。「野党分裂型」の226選挙区は全289選挙区の78%を占める。結果は与党183勝、野党43勝と与党側の大勝だった。そこで、「立憲、希望、共産、社民、野党系無所属による野党共闘」が成功していればという仮定のもと、各選挙区でのこれらの候補の得票を単純に合算する試算を行った。その結果、「野党分裂型」63選挙区で勝敗が入れ替わり、与党120勝、野党106勝となった。10月24日、「朝日新聞」デジタル版を要約S

## スマホ時代に思う

高齢者用のスマホを使い始めました。

かつて電車内は、新聞や書物などの活字を読む人が大半でした。今は完全に少数派です。スマホ等の画面に見入る人が大多数です。筆者の場合、通話とメール、カメラ以外にはフェイスブック(FB)というSNS

Sを、利用します。毎日、多くの情報が発信されています。本村伸子衆院議員、井上哲士参院議員などもFB上の「友達」となり、その活動ぶりが毎日のようにわかります。時々、当方からも発信します。数人から「いいね」の返信が来ます。またツイ

ター等で戦争法反対の集会などに参加する若い人もいます。シールズの皆さんはスマホを見ながらスピーチをしています。先日、小関篤司市議らと飛騨市へカーナビのない車で出かけました。しかし小関氏はスマホを利用、目的地までスムーズに行けました。孫娘と旅行した時も、「赤旗」取扱所や飲食店を探すために、スマホに発声で

パソコンやスマホなどで事件や事故も瞬時に知ることが出来ます。新聞・TVに頼らなくても世の中や情勢がわかる気になります。便利な、使いこなす人を羨ましいとも思います。高齢者は世の進歩から取り残されそうな不安に駆られます。とはいえ「スマホ漬け」社会が健全とは思えません。

おとなの責任で  
子や孫に憲法9条を  
3000万人署名運動で  
成功させよう

「市民連合」「9条の会」などによる「統一署名簿」によって進められています。日本共産党土岐市委員会は、みなさんと力を合わせてがんばります。

(Y)